

令和2年度 AI いちご生産イノベーションモデル創出事業 定期レポート vol.3 (2021年3月号)

新品種「とちあいか」の栽培にAIを導入



「とちあいかAIコンソーシアム」参画メンバー

- 栃木県
- はが野農業協同組合 (JAはが野)
- 全国農業協同組合連合会栃木県本部 (JA全農とちぎ)
- 株式会社ブルーフィールド
- 真岡市
- PwCあらた有限責任監査法人

最新のテクノロジーを活用してデータ計測 (数値化) を行っています!

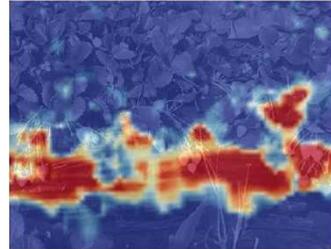
果実の温度

温度が測れる特殊なカメラをハウスに設置して、果実の温度を計測しました。

目で見ても温度はわからない



特殊なカメラで温度を計測



葉のひろがり

画像から色認識により葉のひろがり (葉の成長度合い) を計測しました。

成長度合いは一目ではわからない



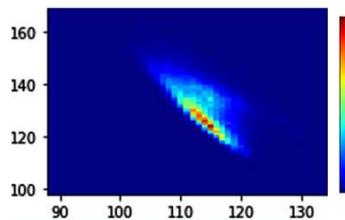
葉面積のデータで成長を把握



葉の色

葉の色のデータ化 (数値化) を行い、色の変化を見える化しました。

葉色をデータ化



葉色の変化を見える化



本事業の第1年度がまもなく終了です。

今年度は、いちごの栽培において重要と考えられるデータをいちご農家をはじめとする皆様と話し合いながら取得するデータを特定しました。

コンソーシアムメンバーや外部有識者との意見交換会を重ねて、取得したデータの取得方法や活用方法の改善を図ってきました。

今後も、いちご農家の皆様や関係者のみなさまと一っしょに「とちあいか」の生産イノベーションを実現したいと思います。

次年度に向けて、とちまるくんからのメッセージ!



4月からは、取れたデータをAIで分析していくまる〜!
おいしい「とちあいか」をみんなにいつでも気軽に楽しんでもらえるようになりたいまる〜